



初學訓

一

大野氏藏書

□ 9
4457
1



D9
4457

益軒貝原先生著

初學訓

京師書坊 瑞錦堂藏

初學訓序

初學訓初也亦益軒先生遺編也今茲
 工人命して其統を棗様了壽人と
 因て竊し序してつくく夫先生此編
 を著し初學訓と名つきて白く紙の
 何乃謂ふや其まんん初學訓人乃を
 つけとちらんまるる以て撰述して君子人



乃るぬとていはいあつさるゝの謙詞も又
 然も敬と此書公誦とらに其言簡
 要にして其旨ひろく聖学れ大なること
 くと其梗概とくに備りては事なり
 不謂法例の中にもとよりこれ親切著明の
 懿訓なりと言ひて一人として学ばざら
 ざるかたはとて躬よ行ふ事かくおと

かゝる古の聖賢君子もわさくおと
 うに何れも秘学の謂もんと然いわれと
 聖学れ蘊奥さなりたかく其事業甚大
 かり学問思辯の功熟し学問のはら
 積るふあつと人の豈一朝一夕に能得る
 るんややくと遠大れ志ありて
 小成り安んじとるふ小文字公誦讀て是

予をわたりとせむるもの亦貴先生の學心
可なりんや是亦初學訓と名つるを結ぶ
意あはれたう人々一時享保戊戌夏五月望
日謹々書す

竹田定直



初學訓卷之一

貝原篤信著

初よそ人とか終る者ハ父母これと有り
いへども其本と云ふは天地乃生理と
うけくせらる故に天下の人ハ皆天地乃
るみ流る子なるは天地を以て父母
一守尚書しやうしやうにも天地ハ萬物の父母といふ
父母ハまじふりの父母なり天地ハ天下
長れ大父母也其上ひきて後父母の養と

得て生長し君恩はるきく身を孝のよこ
其本とをりつは皆天地の生する物と
用ひて命をく家を器として身を
中ちたなり抑も人とか終る者へん
天地乃生理とくきくはるのとなつて
ひられては身とわらるはく天地の養と
うもて身とたもてり然れ人の養物
しんも天地のまはりる大恩をうも
たりあふはひて人乃はつてあま

まはりの父母はくして力とばくといふに
及今一一生の間の天地はく人なり
て其大恩は報くをんををある
是ち人とかんてはひよあまよく
幸ぬもある人
人とかんりのいつの天地はくして其大
恩は報くをんと抑も父母をついて孝と
ひるあま天地はく仁とばくして
と仁はあまをれをく人物とくむ

といふ是天乃りくゝんをさういふをきて天地
 不はくち道也是人の道とする存意あり
 て一生乃り間つゝしんをさりねらるゝ
 らんけとるゝに天よはくして仁あると父母
 一はくして孝あると同一仁孝一理なりと
 人さる者の必あるを終へて理をばらり大
 かりなき又是より急なるいなきと人さる人の
 父母の家より長くは父母よ專に孝を盡し君
 一仕へては君よ專に忠を盡はくといふまゝめく

天地乃中に在るは天地よはくをりて仁と
 はくといふ人となる者若くは大事と云々
 ていふに目ねねと世にともくといふ一生に
 ひあくをく人となれるあひなる人一人と
 さるる者は是と云ふゆんや是則人乃道と
 云ふ也此亦いふ道ありといふは
 乃道といふは
 天よはくしてをさういふといふ人となる者只朝夕
 天道の眼前より有りてをさういふ事をも思ふ

けのり天道とわかれしやまゝしてあかきくは
 かりにたまきぬるじい無道のものぞとあかき
 くは天道とまゝなりてそじうすりの身を
 るりくりにて人をあかきりむるは敬とす
 つくわぬまゝにせと天地のうみそははくし
 足路よ人倫とあつくゆたれとあかきくは
 るこなりと天地乃人のあはけり出く路よ
 五穀とよりのれをくるとつこの人の敬のあ
 よみふはりやまはれ次く鳥獸くま蟲魚ちゆうぎうのけり

物を足るにころさる草木とも何あはれし
 みふれまゝは是皆天地のうみ出くやまゝ
 つくくは路よ物されこれをあかきとあかき
 天地乃清くよまゝなりてそじうすりの身を
 かくのくは物とあかきしは仁のうみに
 くれこのも也是天地乃清くよまゝなりて天
 地はくはくは道なり人倫の内親うちおやとまゝなり
 次く萬民とあかきと次く鳥獸くまおとすける物
 をそまゝなり是天地の清くよまゝなりて仁を

初學訓一
約之序^{つた}なり親とをさへして他人を愛し一人と
をさへして鳥獸とをさへするは不仁なり
凡人の天地のありて生かすをせしむるは天地を以て
うけくをく一天地の養ひ得く身と中^ちなり
くは天地乃大恩とうけて天地の内よりとみ
ちうして天地の仁を以て人^{ひと}を乃徳とと
て保^{たも}つた天地の道^{みち}よりして約つて是上
天地の子としてありて人倫と決^きり
鳥獸とをさへするは不仁なるは天地の

神を以てむして罪^{つみ}ゆ^は是天地のありて生かすを
天道はこれをく一のありて生かすは
人として天とをさへして人を愛せぬは悪^{あく}なり
大なるはれ^は悪^{あく}なり人のありて生かすは天の
ありて生かすは即^{すなは}ち一のありて生かすは後^{のち}は福
ありて生かすは福^{ふく}なりと福^{ふく}なりは福^{ふく}なり
は天地のありて生かすは福^{ふく}なりは福^{ふく}なり
くありて生かすは福^{ふく}なりは福^{ふく}なりは福^{ふく}なり

福をけしむる子孫にわたりて福あり是必然の
理なり古の聖人の教明くも也聖人乃言わ
るるに後世にわたりて古の教に及
ばざるに世に比ぶるに多し

天地の生するを人と貴くは是仁義禮智の五
常れ性をうきて人倫の道なり是人乃万物
とくして多かるるありけ五常とてしるるに
くはされと生るる天地よりしるる人はいの守
るのうへ人の天地の生する五穀のよる味鳥獸

魚介のうもる肉とくして身を貴くは布帛を
わたりてふまの家は居る風寒暑湿とぬきたりて
身とやと人に衣食家居のよるは父母を君の
恩よりわりとくも其卒に皆天地の生るるお
でるをばもの也され人のかくのまはるる天地乃
さはまりかた清くも濁くもるる万物
すくはるるは人恩はるるをさるるにけ
めおるるなり天地を忘れぬ人といふ生れら
るる貴くはとていふるといはれ

かゝる人への恩は、鳥獸と同じく、君への忠、親への孝、
と、同じく、君父の恩は、報ゆる道ありけり。恩と
志は、人の必親、孝あり、君への忠あり、恩は、志
らざる人の必孝あり、忠孝あり、人なるは、道
を失ふといふや、人として、天地乃ち大恩は、けり。人
天地乃ち、めふ、不孝は、子也。人道のなきは、失つり
凡ち、天地のうり、る、命の、美物、皆、是、天地乃ち、氣、と、う、き
ふり、といふも、其中、けり、つと、て、人、なる、貴き、この、

かゝる人となれ、人の仁義禮智信の五常の性
わり、是、天地乃ち、氣、と、う、き、を、本、性、と、し、ら、也。此、身
五倫、よ、ま、つ、り、ま、れ、つ、ま、ら、る、五、常、れ、本、性、の、ま、
ふ、順、い、五、倫、の、道、行、つ、る、是、ま、ら、る、人、の、貴、た、大
本、也。其、と、目、よ、五、色、と、つ、ら、ら、耳、に、五、音、と、つ、ら
ま、ら、ら、る、味、と、ま、ら、る、臭、よ、五、臭、と、つ、ら、ら、る、書、は、
お、ん、ん、ん、ん、ん、ん、ん、ん、ん、ん、ん、ん、ん、ん、ん、ん、ん、ん、
通、一、古、今、天、下、の、ま、ら、る、是、人、乃ち、美、物、
と、い、ふ、貴き、要、かり、故、し、尚、書、に、人、の、美

物の靈たまといふる靈たまといふてあはるるを
 ましむるは人の全く天地の清をうまて
 心とてりけあし其心靈たり
 天地の心といふる氣物をうみ中さひ清し清め
 るこの道と云其理天地の清し清め
 清くはるるは一年につとていふる年といふまは
 生なまと夏の長ながと秋あきはれと冬ふゆはれといふ四時
 ありありと道と云天道と云是天地の氣物
 と云ふるは此の理あり此四時あり

道乃名曰道元亨利貞と云是四時の理あり
 されと天地の道と云天地とあはるる
 てこれを天道と云仁といふ天地の氣物と云
 善い清いありと云この理と人れをいふ
 生れつと云はれを仁をいふ道いふる天地乃
 うみく子とておし清く人倫をいふつ
 ちじよあり人倫とあはるるの道いふ父母
 孝はけくと云はれと云孝はけんとて父母
 親戚しんせきをいふと云人倫といふは

と失ふに似て人をあつれし物故多しむ
 を云は理とせしめれつとては故性云は心
 故失ひざるは天地と志するに於ては人なる
 道ちりのりけん故失ひの即天地の清心
 たりとせしめて人乃道故失ふたり
 仁の心乃徳の熱名ありて物をあつれし理之
 仁とせしめて仁義とかなる義は宜しき也宜し
 義事に相應して各よ礼程よりよを云すして
 人倫万物をあつれし仁たり是理一なり

親兄弟夫婦親戚（人）家（家）人（人）外（外）義民とあつれ
 けし其志とせしめて各よ礼程よりよを云すして
 宜重のつらありて各其人よお慈して宜と
 義と云ひくの如く物よありて宜しきものなるに
 分殊なり理一と分殊とのちと志する人仁
 義のつら其字義くわく

天地は陰陽あり春夏は陽也秋冬は陰也人心
 仁義あり天地は陰陽あり如く天道
 は陰陽あり人心は仁義あり如く易

仁は天の道と立て、陰陽と云ふ人乃道と
 多し、仁と義と云ふは、子孟子に仁は人の道也
 義は人の路なりと云ふ、仁は人の生れ付く
 心也、仁をけきし人の心は、先ん義は人の終り
 へきなり、仁は義をけきし人の道と云ふ
 仁義と云ふは、仁は礼と云ふ義は
 智と云ふ、仁義禮智乃四徳と云ふ、一年と
 云ふは、陰陽と云ふ、陰陽と云ふは、春夏秋
 冬の四徳と云ふ、礼と云ふは、やまひ乃

仁は乃のあり、れより、仁は智と云ふ、明と云ふ
 して、よく、善と云ふ、仁は義の宜くと云ふ
 里の、れより、志と云ふ、仁は義と云ふ、五徳と云ふ
 又仁を、仁と云ふ、義と云ふ、礼と云ふ
 仁義禮智の、仁は、義と云ふ、信と云ふ、信
 は、仁と云ふ、也、仁は、義と云ふ、仁は、義禮智と云ふ、信
 と云ふ、仁は、義と云ふ、仁は、義と云ふ、仁は、義禮
 智乃四徳、仁は、信と云ふ、仁は、義と云ふ、仁は、義禮
 と云ふ、仁は、義と云ふ、仁は、義と云ふ、仁は、義禮

一美也。人よじりて付てかろくさる理を
 もは五常と云。百姓皆曰。吾亦好
 ぎ又幸と欲く美言欲う移り人乃を
 とるは。又よわり此亦にを欲求ひるは。天地
 聖人乃道也。あつに

天道元亨利貞の四徳なり。元はけりまを也
 春の徳なり。亨はとけり也。夏の徳也。利は
 とどろ也。秋乃徳也。貞はとどろ也。冬の徳也
 是春夏秋冬の理なり。は道也。人乃にうり

春はあつに夏のあつに秋はとどろく冬はとどろく
 とまはるる本生し夏はとどろく秋はとどろく
 是のり冬のひそけりか。と古く今も毎
 年あつにとどろくは皆是天道乃徳なり。徳
 ありけり。はひたし人乃をよけり。は天道也
 徳ありけり。如し信ありて仁義禮智の徳實に
 しておとまり

天地はけりて仁とけりて人よと云。父母よつて
 て孝とけりてを孝子と云。父母よけりて人よ

孝子とかなる人天地はけうてい仁人とかなる人
不孝れ子不仁の人とかなる人天地はけうてい不仁の人不
孝の子是天地の間の丈なる罪人なりなり
けうていあるて世にゆるはるは是幸なりて
免まざる也

凡人の天地のうちに人倫と義物とをばし
そこなふは天地の中につとて人の我と一類とを
同一く天地の子なる人倫の内親疎ありと
つとて其本とをわらわると天地の間の丈なる人の

皆我の兄弟也はあは義物の内とてとつとつと
人倫とあつとつと天地のうちに子孫あり
て天地はけうてい道なり天地の間にけうてい
人とあつとつと天地の清公よらるる人倫と
人の子孫ありとつと其父母よりつとつと
是天地はけうてい孝の道也其と兄弟を
あつとつと理なり天地と父母とつとつと天下の
人倫は皆人の兄弟なり

人の天地の性なりとて天理とせられつと

く其の性を性なりとより言たり其物より
是禽獸よりいれり處ありありきれた禽
あき衣をたててふき居るやとくは
またあく人乃道と志すこれ禽獸にらじ
禽獸ものもくは身をまきするもの人
うりて人と禽獸のかくりは只天地の性
わいて道を行きて約いさるふあり古
人乃をえちく道と志すは禽獸より
るよと志すは約いて學問ありて師と

天下の人は人倫の道とをくはせ給ふ
人とかるものい必聖人のをくはせ給
同をつとめ人乃道と志して約い人
人倫とあつとる道なり聖人のをくは
乃道とめくは給ふ教なり學者の学
も同じく人倫とめくは給ふ也け
人のいはるく人のなちと志す
人倫よ又あり一は父子二は君長三は夫婦
ゆよの長幼あよの朋友ちり是と又倫とあつ

備ハ類たぐひなり天下に人多クといふも皆け
五倫にこわりおらおむわといはれやいとい
といめいの軍ハ子に類たぐひ貴人者君ハ君に類
一民乃我よりやいさといはるるは長に
類一兄弟後兄弟ハ長幼の内よりあり等輩
乃人の朋友ハ類一君と侍ある師ハ君父とい
と一是五倫とみく天下の人をいひて五倫
の道といふ孟子曰父子有親君長有義夫婦
有別長幼有序朋友有信これたるといふハ

子孫をさるの義理の教といひて一子の孝といひ
は其力とけく一君ハ長幼ありて長ハ身を
つとめて忠といひて一妻ハ婦に義あり婦ハ夫
を志といひて一長ハ幼と敬といひて一長者ハ
志といひて一朋友ハ孝といひて一友といひて一
先無私といふ相とすけてそのものけありし
是五倫の道なり人の道といひて終一は事
は外にけふも一世に及ぶと求るハ天地聖
人乃道といふは

およそ人の道と云ふは地より生れつゝ
 五帝五姓を失つと其五性と云ふは
 倫の道と云はく行ふはありあき
 失はらる徳と云ふはそなたの理也
 五倫といはくはそなたの行をつと
 て身をおさじら道也との徳は身
 といふとありと云ふは是即人の
 地より生る孝なり

天道よりつゝの理と性と云仁

義禮智信の五性是也これと云ふ
 小徳といふはけいふ事の中
 まはれつゝの善なり
 妨らる道と云ふは人の心
 まはらるる故なり其名と云ふ
 て道と云ふ我れつゝの自然の
 つまひ大道といふはそなた
 私と云ふはそなたの心と云ふ
 ゆうと云ふはそなたの道と云

乃中とまけいけり也中庸の性もさういふ
 を道とまは性とい人の心もまねつたさるふ
 性も仁の性もさういふ父子とさういふ臣
 民をさけくとも義物とおとる皆是仁のた
 かり義の性もさういふ君もけりてさるも
 一身とりとれ也人さうやまひ賢人とさう
 とい利をこのまは財をさういふ行もさる
 ともさるのまはさるいさるは皆是義のた也
 禮の性もさういふ長幼貴賤のほりりり小

次第あり貴人とさるさういふやとさ
 けりたとありさういふさういふとさういふと
 失いさるは皆是禮の道也智の性もさういふ
 婦の別さういふ人のさういふの邪さういふ
 ありさるさる教皆是智乃道也信の性も
 さういふ朋友のほりりりりりりりりりりり
 ありさるけりりりりりりりりりりりりりり
 する皆是信乃道也けりりりりりりりりりり
 をりりりりりりりりりりりりりりりりりり

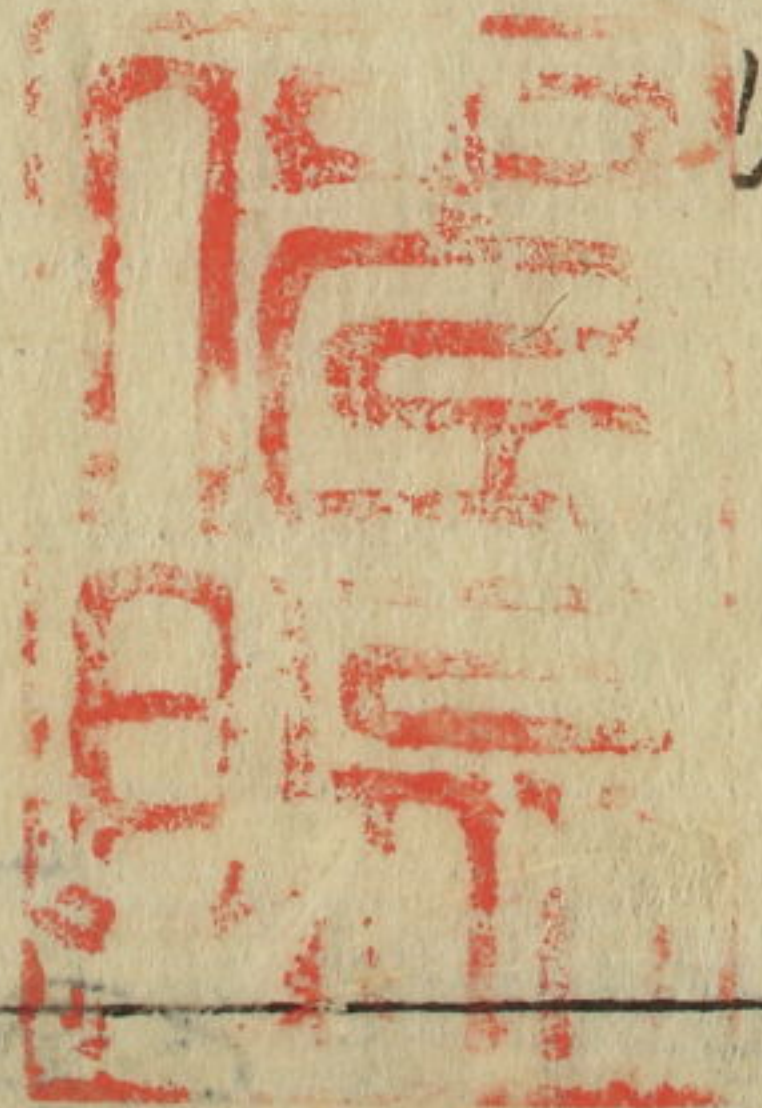
つひにこれなり

五倫の道は父母よりはじめて孝は終りて終るなり
とれつての身は父母より生れられたる父母の身の
身れを也其つとりの生れし初より父母乃養育
育はよりて人とさわりする事と育りてつと二
乃恩あり其恩のつとく大なりとまはりまは
るつとつらもあはれ海人もあはれつとあはれを
とるふ物なり天地乃生れとつと我と君と
おしとつこのあはれ孝とつとたを終るの事なり

人倫の道乃神と守聖人の道は又倫乃道は
わらひつとをみくじひのんたつとつと父母よ
孝とけつとつと五倫の神と百行の奉つと
故つとた乃君子の孝も其あつとつと終る
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつと
るつとつとつとつとつとつとつとつとつと
者いまつと父母よけつとつと道と早くまはつと知
るつとつと孝の道はつとつとつとつとつとつと
なり也

父母はけりる小愛敬の二乃を法ありは二の孝
 子れをこころ有也人れ子る者必是と云はむ
 老いいたるに心親と云はれしは也敬は
 うやまふこと心はけりて親をうやまひれを
 あいと云はれむはけりて父母のこころをわらうと云ふ
 して情と云ふ敬をけりて父母とわらうと云ふ
 志ありて敬と云ふをのこころ敬をけりて大馬
 と云ふは同一敬と云ふをこころと云ふは父子
 乃向てこころと云ふは他人のこころと云ふの

を樂しきはけりる忠敬二なりてこれ
 ハ孝とわらひを敬のを法ありてこれ
 忠と云ふと云ふは此者鳥乃支翼乃と云ふ
 車の支輪のこころをわらうと云ふ



初学訓卷之一



蘇州府志